

株式会社ジェイコムイースト 世田谷局・調布局

放送番組審議会 議事録

平成 28 年度(2016 年度)株式会社ジェイコムイースト世田谷局・調布局 合同放送番組審議会は、
2017 年 3 月 27 日(月)世田谷局にて開催された。

【放送番組審議会委員】

池田 豊 様
小川 みゆき 様
城戸 雅幸 様
吉良 雅彦 様
齊藤 亀三 様
張堂 完俊 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：吉良会長

■ 調布市との取組について

委員

「デイリーニュース」は毎日放送があり、市の広報番組「テレビ広報ちようふ」で拾い切れていない事案を扱って頂いて感謝している。ただ、放送が 17 時からと慌ただしい時間帯なので、サラリーマンが仕事終わりに見られるような時間に放送を検討してもらいたい。

今年は「リオ五輪」の生放送があったが、2020 年の「東京五輪」では調布でも複数の競技が行われる。

パブリックビューイングを実施する予定があれば教えて欲しい。

また、「調布人図鑑」のゲストは、どのように選んでいるのか？

事業者

「デイリーニュース」は同日 21 時 30 分と 23 時 30 分から再放送を行っている。

今後はスマホ用のアプリでも配信し、1 週間分をアーカイブ化するなど、見逃しにも対応していきたい。

「東京五輪」に関しては J:COM として参画が未定。

「調布人図鑑」のキャスティングは、自薦他薦問わず地域に貢献している方を選出している。

ゲストから次の方を紹介して頂くこともあるし、イベントなどの開催前に主催者に来て頂くことも多い。

事業者

「調布人図鑑」は地元で活躍する方々にお声がけしているが、地域の格的なものを考慮しご出演頂く順番を留意した。今後は芸術・スポーツ分野の方々へ多数出演交渉していきたい。

■ 地域の特徴を番組に

委員

テレビをあまり見ないが、コミュニティチャンネルは身近に感じられて良い。

5月の「くらやみ祭 生中継」が好きだが、もう少し編集を加えたダイジェスト版を作ってはどうか。

歴史性を学び、事前の神事から続いていく一連の行事を知ること、より興味を持ってもらえるはず。

「録画して残したい」「ためになるので何度でも見たい」番組が1つ2つあるだけで、チャンネルの格が上がる。

委員

色々な分野を網羅しているが、どれもきっちり出来ていると感じる。

私は植物が好きなのだが、「毎週」「毎日」など定期的に東京を巡って花を紹介する番組があると良い。

趣味でカメラを嗜む方も増えているし、高齢者の方で写真展を開いている方も多いため、今日は東京のどこで、どんな花が咲いているのか知りたいはず。

委員

今の時期だと地元の人しか知らない桜スポットを紹介したりすると面白い。

■ 世田谷区との取組について

委員

世田谷区は大学が多く、学校や学生が地域に溶け込み、地域イベントにつながっている。

大学との取組は行っているか？

また、行政は情報が集約されているようで網羅は出来ていないのだが、「デイリーニュース」の地域イベント情報はどのように収集しているのか？

事業者

大学との取り組みは地域差があるが、かつては資本関係から日大芸術学部と連携が強く、

「日芸アワー」という番組を制作中。また、武蔵大学も「キャンパス映像部」という番組を制作している。

エリア内の大学からはインターンは随時受け入れている。

情報提供もして頂いているので、今後は様々な大学とも連携していきたい。

「デイリーニュース」は行政の広報紙、福祉団体や商店街のチラシ、自治体の掲示板などから情報を得ており、取材依頼も毎週のように頂いている。番組では1日5本ペース、月100本程度のニュースを紹介するので、取材に訪れた皆さんから関連イベントを紹介して頂くことも多い。

課題としては、土日のイベントが集中するため選定しているが、選定基準となるべく多くを紹介するのが命題でもある。今後はJ:COMとしてニュースの価値をどこに置くか考えなければいけない。

■ 狛江市との取組について

委員

「デイリーニュース」では狛江市のニュースをたくさん扱って頂いてありがたい。

5月から開始予定の「人図鑑」では広報と協力して詰めていきたい。

■ 編成に関して

委員

昨年4月より障害者差別解消法が施行されたが、聴覚障害者用の字幕放送を是非対応願いたい。

委員

「わくわく1年生」は興味深く、微笑ましい。世田谷では子供の数が増え、小学校の生徒数も増えている。その一方で、統廃合により廃校になる学校も出てきた。こうした事象の理由を含めて取り上げて欲しい。少子化により、親世代は昔より強い思い入れを子供に抱いているので、「J:COM ジャビットカップ」など子供にスポットを当てた番組は心に響くだろう。さらに、2020年に向けて地域のスポーツで有名な子供たちを追いかけていけば、いずれオリンピック候補が出てくるかもしれない。

委員

地元の企業では採用が難しくなったという話題が多い。地元就職する学生も増えているが、近所の企業がどんな会社なのか知らないことも多々ある。

例えば調布は「映画のまち 調布」ということで映画関連の会社が多いが、業務内容がわからない。特徴のある地元企業を紹介する番組があると、地域に暮らす人々の地元に対する認識が広がる。

事業者

今日の議論を活かして、より良い番組を目指していきたい。

東京の花を巡る番組など、ヒントもたくさん頂いた。狛江市では夜桜のライトアップが始まるが、調布市と狛江市の境界は市ごとにライトの色が違うので趣がある。こうした情報もどんどん発信していきたい。

以上